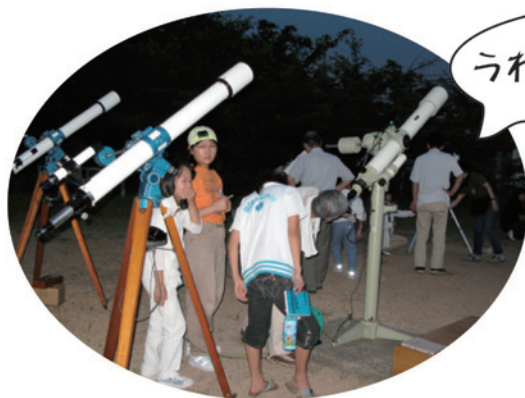


## 第一回

# 子ども夏休み天体観測教室

## レポート



うわーっ! 見えた!!



8月8日、花山天文台で、第一回 子ども夏休み天体観測教室が開催され、小学3年生から中学3年生までの14名の子どもたちと7名の保護者が参加しました。まず、太陽についてのお話があり、観測する際の説明を聞いた後、望遠鏡の操作などの指導を受け、外に設置してある望遠鏡で太陽黒点とプロミネンスの観測です。望遠鏡を覗いたとたん「あつ、見えたー!」と喚声があがります。さつそく黒点のスケッチをしたり、質問をしたり、みんな夢中! 中3の壁阿紀さんは、黒点が3つも観測出来たと話してくれました。保護者からは、初めての黒点観測やプロミネンスが見えて感動だったという言葉がありました。ひと息ついて、夕食のお弁当当タイムをはさみ、空に夕焼けの光が混じる頃、木星観測についてのレクチャーが始まりました。38年間に渡り、火星と木星の観測を続けている安達誠先生の楽しいお話に、みんな集中しています。400年前にガリレオ・ガリレイが発見した、木星の衛星も見てみよう。木星は本当に円い星かな? 肉眼では見えない衛星…でも、アフリカ・マサイ族の人々は木星のことを「4つの子どもがある星」と呼んでいる…凄く目が良いんだね、など興味をかき立てられるお話がいっぱい! 保護者の皆さんも熱心に聞いていました。そしていよいよ、外で観測です。午後7時過ぎ、薄い雲のかかった空、肉眼では何も見えませんが、望遠鏡を覗き込んだとたん「うわーっ、見えたー!」子どものような衛星4つも、はつきりと美しく見えています。

じつと見ていると、望遠鏡から木星がずれていきます。そう、地球は自転しているんだつた！ボランティアの会員さんたちに、その都度焦点を合わせてもらい、子どもたちはいくつもの望遠鏡を覗きに回ります。ガリシオはどんな思いで見えたのかな？…何だかロマンを感じますね♪ いつの間にか日が暮れ、いよいよ45 cm屈折望遠鏡での観測です。木星に向かって開かれたドーム、そびえ立つ大きな望遠鏡！迫力です。高い観測台の階段を上がり、覗いてみると「き、きれい！！」

4つの衛星がはっきりと見えま。木星のガスのしま模様や、ほんのり赤い大赤斑も！じつと見ていると、ガスのしま模様が動いている感じがします。みんな夢中で観測していました。ふと気がつくと、外でドーンと音がして、夜空に大輪の花火！何とこの日は、びわ湖花火大会。天文台のベランダに出て花火見物です。太陽や木星の観測に花火のおまけまでついて、大感動体験の一日でした。4年生の南 芳明くんは、望遠鏡で見ていると、黒点が動いていくのが面白かったそうです。小学3年生の河南直希くんは、とっても楽しかったし、もっと色々な事を知りたいので絶対また来たい、と目をキラキラさせていました。大気の揺らぎが小さくて観測条件に恵まれた真夏の一日、花山天文台での体験は、子どもたちにも大人にも、深い感動を残してくれました。

前田依里子

★ 迫力の45 cm屈折望遠鏡

